



NRU NEWS

No. 276
2009年6月29日
発行責任者 平山芳夫
編集責任者 吉澤英夫

紋別・美幌闘争団オルグ 国鉄闘争報告集会を開催 総選挙に勝利し、「JR不採用問題」の早期解決を！！



県支援共闘会議と地方本部は、6月24日、県労働会館において、「紋別・美幌闘争団オルグ国鉄闘争報告集会」を開催した。

主催者あいさつで県支援共闘高橋議長は「3月25日の東京高裁判決以降、闘争団は、座り込み、国会・国土交通省・鉄道運輸機構への申し入れ・要請等行動を展開し、世論形成を図ってきた。自民党にも足がかりが出来た。解決に向けてもう一步のところまで追いつめた。なんとしても総選挙で勝利し、決着をつけよう」と述べた。

美幌闘争団・長縄団長は「28歳で首を切られ、50歳になった。仲間を裏切ることはできないという思いでやってきた。現在の『派遣・非正規』切りの実態をみると、労働者が労働力を売って生活する当たり前のことが、今の日本では認められない。放置してきた政府を許さない。雇用・年金・解決金を柱とする解決をなんとしてももぎとる」と力強く語った。紋別闘争団・清野団長は「昨年、支援凍結解除していただき、ホタテも過去最高の売り上げを記録し、今までのブランクがなかったような取り組みをしていただいた。あと一步まで来た。4者・4団体が分断されないよう、しっかり団結していく」と報告した。

闘争報告で、社保労長野支部・井積書記長は「年金記録問題を社保庁で働く労働者が悪いかのように吹聴されてきた。日本年金機構設立委員会へ採用候補者名簿を提出し、採用・不採用に振り分けられる。第二の国鉄方式と言われ、過去の懲戒処分者867名は不採用。採用通知が明日手渡される。なんとしても雇用を確保していく」と報告した。

最後に長野地区支援共闘・神山議長の団結ガンバロウで閉会した。

～夏季物販を全力で取り組もう！～